

御 挨拶



この度、第 59 回中国四国合同産業衛生学会の学会長を仰せつかりました。皆様に謹んでご挨拶申し上げます。

本学会は、愛媛県では 8 年ぶりの開催となります。会期は、平成 27 年 12 月 5 日（土）～6 日（日）の 2 日間、会場は松山市の愛媛大学城北キャンパスを予定しています。日本産業衛生学会は、現在正会員約 7,500 人を擁する産業保健の中心学会であり、毎年開催するこの中国四国合同産業衛生学会には中四国の 9 県から約 150～200 人の学会員が集まり、活発な議論によって、地域における産業保健の進歩に大きく寄与して参りました。現在わが国は、アベノミクス改革の真っ只中にあり、経済や雇用状況が大きく変化する中で勤労者の自殺問題やストレス等の精神保健上の問題が、課題として浮かび上がっております。本学会は、このような課題を解決するためにエビデンスを蓄積し、より良い健康管理法を勤労者に提供するための建設的な議論の場として重要な役割を担っています。

そこで、今回の学会では、『職場のメンタルヘルスを考える』をメインテーマとさせて頂きました。中四国で活躍されている産業保健の専門家・実務家が一堂に会し、様々な立場から産業保健活動の可能性を追求する新たな取り組みの発表の場を提供することで、産業保健が抱えている課題の解決に貢献することを目指して企画運営を進めております。

何卒、皆様のご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成 27 年 6 月吉日

第 59 回中国四国合同産業衛生学会

学会長 三宅吉博

(愛媛大学大学院医学系研究科疫学・予防医学講座)